

2018年度(2019年3月期) 第1四半期決算説明会



2018年8月1日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



2018年度第1四半期実績：概要

(億円)

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前期比増減	
売上高	685	617	-68	-9.9%
セルフメディケーション	448	425	-23	-5.2%
医薬	237	193	-45	-18.8%
営業利益	69	82	+12	+17.5%
経常利益	88	122	+34	+38.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	137	+82	+147.3%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2018年度第1四半期の概況：SM事業

(億円)

	2018年度 1Q	前年同期比 増減		要因
SM事業全体	425	-23	-5.2%	
SM国内	340	-19	-5.4%	
リポビタンシリーズ	133	-13	-9.2%	市場ダウントレンドの影響等
パブロンシリーズ	51	+5	+10.8%	かぜ薬新製品による伸長
リアップシリーズ	34	-3	-8.3%	概ね計画通り
その他	122	-8	-6.0%	通販事業は伸長
SM海外	77	-5	-6.4%	計画通りの伸長 一時的在庫要因あり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

国内OTC医薬品市場：前年同期比(4~6月)+2.1%
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2018年度第1四半期 SM海外：売上高

(億円)

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	前期比増減	
SM海外	83	77	-5	-6.4%
ドリンク剤	28	30	+2	+6.4%
OTC医薬品	51	42	-9	-18.3%
アジア	45	39	-6	-14.4%
その他	6	3	-3	-49.5%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2018年度第1四半期の概況：医薬事業



(億円)

	2018年度 1Q	前年同期比 増減		要因
医薬事業	193	-45	-18.8%	
エディロール	59	-3	-4.6%	消化は順調も、流通在庫調整分の減少
ゾシン	15	-13	-46.8%	薬価改定、後発品の影響により減少
ボンビバ	14	-1	-8.7%	薬価改定の影響により減少
ルセフィ	11	-1	-7.7%	計画通り
ロコア	8	+0	+2.6%	高い臨床効果の認知の広がり

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況（前年同期比）>

医療用医薬品市場	-1.3%
・SGLT2阻害剤市場	+34.6%
・抗菌薬市場	-15.3%
・ビタミンD3市場	+3.7%

(Copyright © 2018 IQVIA. JPM2017年4月-2018年6月をもとに作成、無断転載禁止)



2018年度第1四半期：売上高・利益増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-68億円)	セルフメディケーション事業 (-23億円)	医薬事業 (-45億円)
営業利益 (+12億円)	売上総利益* -38億円 (売上総利益率* 前期64.6% → 当期65.7%)	
	販管費 -50億円	
	(内訳)	
	・研究開発費 -9億円	
	・広告宣伝費 -17億円	
	・販売促進費 -11億円	
	・人件費 -3億円	
・その他 -10億円		
営業外損益：持分法投資利益 14億円 (前期比+17億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2018年度：通期業績予想

(億円)

	2018年度 2Q(予)	2018年度 予想	前期比増減	
売上高	1,320	2,690	-111	-4.0%
セルフメディケーション	911	1,865	+25	+1.4%
医薬	409	825	-136	-14.1%
営業利益	140	330	-40	-10.8%
経常利益	165	395	-26	-6.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	390	555	+238	+75.2%
1株当たり当期純利益(円)	488.10	694.62	-	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2018年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-111億円)	セルフメディケーション事業 (+25億円)	医薬事業 (-136億円)
営業利益 (-40億円)	売上総利益* -66億円 (売上総利益率* 前期65.3% → 当期65.6%)	
	販管費 -26億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	-1億円
	・広告宣伝費	-17億円
	・販売促進費	+3億円
	・人件費	-14億円
・その他	+3億円	
営業外損益：持分法投資損失 7億円(前期比 +9億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



医療用医薬品：開発品の状況

- 2017年度通期決算発表時(5月14日)からの変更点

(2018年8月1日現在)

国内：TS-152* (注射)	
予定適応症	関節リウマチ
特長他	抗TNF α 抗体
変更点	フェーズ3に移行

*TS-152：一般名：Ozoralizumab



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：申請中

(2018年8月1日現在)

	<u>特長他</u> 予定適応症	開発形態	国内／海外
申請中			
タウリン散98% 「大正」	MELAS*における脳卒中様発作の再発抑制 ※適応追加	自社	国内

* Mitochondrial myopathy, Encephalopathy, Lactic Acidosis and Stroke-like episodes
(ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作症候群)



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2018年8月1日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ3			
TS-152* (注射)	抗TNF α 抗体 関節リウマチ *一般名：Ozoralizumab	自社	国内
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内
TS-142 (経口)	不眠症	自社	国内
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外



医療用医薬品：新薬パイプライン(3)

大正製薬開発品：フェーズ1

(2018年8月1日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ